

広東省の2016年のGRP 成長率は7.5%

広東省統計局は1月22日、2016年の広東省の実質域内総生産(GRP)成長率は7.5%、金額(名目ベース)は7兆9,512億500万元(約135兆1,704億円、1元=約17円)と発表した。成長率は前年より0.5ポイント低下したが、全国平均を0.8ポイント上回った。

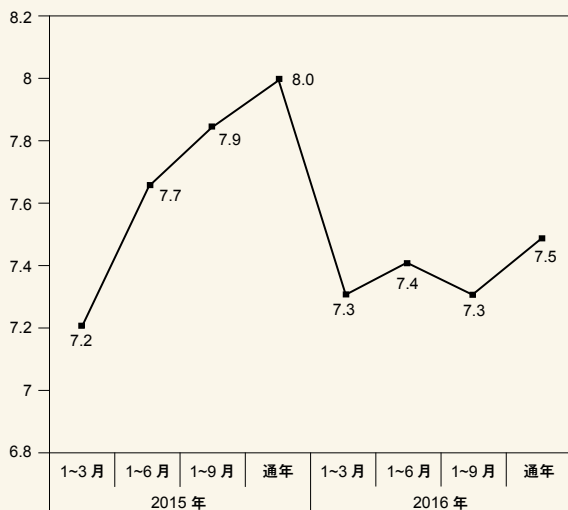
第三次産業が全体の伸びを牽引

GRPを産業別にみると、第一次産業が3.1%増で3,693億5,800億元、第二次産業が6.2%増で3兆4,372億4,600万元、第三次産業が9.1%増で4兆1,446億100万元となり、全体では実質7.5%成長だった(図参照)。

第三次産業の寄与率は61.3%で、成長率を4.6ポイント引き上げた。また、現代サービス業(注1)は前年比10.4%増となり、第三次産業に占める割合が61.7%となった。

図 広東省のGRP成長率(前年(同期)比)

図 広東省のGRP成長率



(出所)広東省統計局

貿易額は0.8%減少

項目別にみると、固定資産投資(農家を含まず)は、名目で前年比10.0%増(実質9.7%増)の3兆3,008億8,600万元だった。伸び率は前年より5.8ポイント低下した。うち、不動産開発投資は20.7%増の1兆307億8,000万元で、金額ベースでは全国1位となった。

社会消費品小売総額は、名目で前年比10.2%増(実質9.3%増)の3兆4,739億元だった。伸び率は前年より0.1ポイント上昇した。

貿易額は前年比0.8%減の6兆3,029億5,000万元となり、減少幅は前年より3.1ポイント縮小した。輸出額は1.3%減の3兆9,455億1,000万元で、輸入額は横ばいの2兆3,574億4,000万元だった。越境ECによる輸出入額は53.8%増となった。また、輸出入ともに一般貿易が加工貿易を上回った。これは、統計開始以来初めてとされる(中国新聞網1月18日)。

工業生産は民間企業が堅調

一定規模以上の工業企業(注2)の付加価値増加額は前年比6.7%増の3兆1,917億3,900万元で、伸び幅は0.5ポイント縮小した。うち、民間企業は11.4%増の1兆5,787億6,700万元と、全体を5.4ポイント引き上げた。国有持ち株企業は5.0%増の4,966億6,200万元、外資系企業(香港・マカオなどを含む)は2.3%増の1兆2,961億1,700万元だった。

2017年通年の成長率を7~7.5%と予測

広東省統計局の幸曉維局長は2017年について、「国際的に不確定要素が増加しており、外部経済の不確実性は広東省にとって大きな挑戦となる」としながら、「広東省経済は引き続き安定を維持し、成長率は7~7.5%の間になる」(「21世紀経済報道」1月22日)との見通しを示した。(注1)金融業、情報通信サービスおよびソフトウェア業、不動産業、現代物流業、リース・法律・会計業をはじめとするビジネスサービス業などを指す。

(注2)年間主要業務の売上高が2,000万元以上の工業企業。

【出所】ジェット口通商弘報2017年2月1付記事

本資料はご利用される方のご判断・責任においてご使用下さい。可能な限り正確な情報の提供を心掛けておりますが、本資料で提供した内容に関連して、利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、会員企業サポート室及びジェット口は一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。